

学校評価(共通項目)評価書

朝霞市立朝霞第三中学校

柱	No	評価項目	自己評価	職員	保護者	生徒	自己評価の説明及び学校の考え	関係者評価	学校関係者評価者の説明
学校の組織運営	1	学校は、学校教育目標達成に向けて、全教職員で組織的に取り組んでいる。	B	2.9	3.1	3.4	○生徒評価はA。学習・行事・部活動等、積極的に生き生きと活動する生徒が多い。 △学校教育目標達成に向けた具体的な取組を保護者・地域にアピールする。生徒自身に達成感を味わわせる教育活動を推進する。 △校務分掌を核とした組織的な対応に関して研究を進める。義務教育9年間の連続性を保ち意図的計画的な教育活動を実施する。	A	・生徒がそれぞれ活躍する場があり、いきいきしているのは教職員の支えがあってこそ、先生が笑顔でいてくれると安心する。 ・生徒自身が達成感を感じている。 ・見ている限りできていると思う。 ・生徒たちの伸び伸び活き活きした表情、姿から十分に伺うことができます。
	2	学校は、安全・安心に配慮し、危機管理体制を整えている。	B	2.9	3.2	3.5	○保護者A評価が1年生保護者10.8%、3年生保護者8.5%向上。生徒は「A評価」。生徒は安心して学校に通っている。 ○日々の安全点検や教職員研修を充実させ危機管理意識の醸成を粘り強く行った。校内の不要物を廃棄し、施設設備の安全管理をスムーズにした。 △危機意識を高く持っていることから、教職員の評価は低い。引き続き安全点検を充実させ、安心・安全な学校運営を実現する。	A	・掃除が行き届いているので、日常的には問題ないが、災害時にどう行動したらよいか把握できているか疑問。 ・生徒が安心して学校に通っている。 ・見ている限りできていると思う。 ・防災について、先進事例を学び実践してほしい。 ・防犯について、情報伝達スピード、正確さ、事後報告などの徹底。
基礎学力の定着	3	児童生徒は、教職員の指導により、基礎学力を身に付けている。	B	2.9	2.9	3.3	○保護者肯定的意見が昨年度比+2.8%。 ○授業での丁寧な指導、反復学習が成果をあげ、埼玉県学調、全国学テにおいて概ね県平均を上回った。 △保護者・教職員とも評価が伸び悩んだ。引き続き基礎学力の定着と併せ、課題である「書く」学習課題や「考えを広げる」学習場面を教育計画に位置付ける。学習状況や達成度を生徒・保護者に効果的に伝える。	B	・県・全国のテストにおいてどの教科も平均点を上回っていることから、基礎学力は身につけていると思われる。 ・見ている限りできていると思う。 ・学力格差を減らしながら全体のレベルアップにつなげてほしい。
	4	学校は、学力向上をめざし、児童生徒の実態に基づいて授業改善に努めている。	B	2.9	2.9	3.2	○保護者A評価は6.4%向上した。 ○アクティブ・ラーニングを主題とした研修を実施した。研究発表を軸に授業研究を推進した。 △教科の枠を超えた授業研究、学力向上プランの質の向上が課題。 ○研究発表で培った授業スキルを活用する。次年度は教科会を重点化し、個に応じた授業実践ときめ細かな指導の工夫を進める。	A	・アクティブ・ラーニングがどの教科においても実践されていると思った。 ・見ている限りできていると思う。 ・生徒ひとり一人の理解、適応力を見定め、改善を進めてほしい。
規律ある態度の育成	5	児童生徒は、生活のルールに基づき、発達段階に応じた「規律ある態度」を身に付けている。	B	2.7	3.1	3.0	○保護者肯定的回答89.0%。A評価昨年度比5.9%増。規律ある態度に対する指導について、保護者、生徒から評価をいただいた。 ○学習規律が整った中で授業が進められている。教職員はさらなる向上を目指している。 △三中の掲げる「自主自立の態度」の育成、「自分たちのことは自分たちで決め、守る」を具現化させる。個に応じたきめ細かな指導は今後も必要である。	A	・皆、しっかりとあいさつができています。 ・保護者が安心して学校に送り出している。 ・見ている限りできていると思う。 ・全体の意識統一ができ、そのレベルの高さに感心します。
	6	学校は、児童生徒の実態把握に基づき、規律ある態度の指導の工夫・改善に努めている。	B	2.8	3.0	3.2	○根幹である体育の授業における集団行動、授業規律が確立されている。 ○毎週生徒指導部会、教育相談部会を実施し、生徒把握に基づき組織的な対応を実施できた。 △授業中の姿勢が悪い生徒も散見される。全教科で共通指導項目(授業規律のスタンダード)を確認し、共通理解に基づく指導を実施する。	A	・生徒のSOSがあったら、すぐに気づいて対処してほしい。 ・先生方の連携指導がうまくいっている。 ・見ている限りできていると思う。 ・家庭や校外の生活の影響もあるが小さい変化を早く発見して対処して欲しい。
健康・体力向上	7	児童生徒は、体育の授業や運動部活動、外遊び等の運動に意欲的に取り組んでいる。	A	3.5	3.4	3.5	○職員・保護者ともにA評価。集団行動の徹底が図られ、効果的な運動量を確保できた。体を動かすことが好きな生徒が多くなっている。 ○体育的行事も全校共通理解に基づき、個はもちろん集団の中の成長を支える指導を実践した。 △運動中の不注意による怪我について注意喚起を工夫し、引き続き事故0を目指す。	A	・部活動が盛ん。 ・いきいきと学校生活を送っているのがよく理解できる。 ・見ている限りできていると思う。 ・体力増強以外にも集中力、忍耐力などメンタル強化につながることも指導してほしい。
	8	学校は、児童生徒の体力を高めるため、意図的に向上策を講じている。	B	3.1	3.1	3.2	○体育科を中心に授業・部活動で体力向上施策が実施され、成果が出ている。スポーツテストの分析をすすめ、効果的な体力向上、運動技能向上策を提案していく。 △過去データと比較し、指導法保の工夫による成果が表れたことを学校HPや掲示で示すことで、さらに生徒の意欲を高め、アピールできるのではないかな。	A	・体育大会に向けての練習、鳴子等を動かすことが多い。 ・見ている限りできていると思う。 ・取組の意義、数値目標など一体となって行えるよう、これまで以上に工夫してほしい。
連携	9	学校は、保護者や地域と連携し、その教育力を学力や体力の向上に生かしている。	B	3.2	3.1	3.1	○大きな行事の際、PTA役員を中心に保護者にご協力いただいている。教職員も積極的に参加し成果を挙げている。 ○家庭への連絡・連携を早急かつ適切に行い、課題解決に努力できた。 △学校に対する敷居の高さを払拭し、一人一人の生徒の良さや可能性を伸ばす教育を引き続き推進する。	A	・行事の際、PTAが活躍している姿がみられる。もって地域の力も利用した方がよい。 ・もう一歩踏み込んでほしいと思う。 ・情報や意見交換の機会を増やし、同じ方向を目指す様工夫してほしい。
	10	保護者や地域は、学校と協力し合い、児童生徒の安全指導・健全育成を推進している。	B	3.0	3.1	3.1	○通学路安全点検は、保護者(PTA本部)に協力を仰ぎ、教職員で実施した。 ○安全指導、健全育成の全体指導を効果的に実施した。今後も生徒、保護者に寄り添った指導を継続する。 △保護者・教職員が負担感を持たず、安心・安全な学校運営に主体的に参加できる学校文化を形成し、地域連携を進める。	B	・生徒は交通ルールを守っているが、親の自転車マナーが悪い人たちがいる。 ・もう一歩踏み込んでほしいと思う。 ・情報や意見交換の機会を増やし、同じ方向を目指す様工夫してほしい。

注:「自己評価」及び「関係者評価」の欄はA~Dで記入

Aは4点、Bは3点、Cは2点、Dは1点で換算した平均値から、A:3.4以上、B:2.6以上、C:2.0以上、D:2.0未満